

シルバーきりゅう

第44号



第2回シルバー祭り

社団法人 桐生市シルバー人材センター

大盛況！第2回シルバー祭り

11月13日（日）、晴天に恵まれた祭り当日、7時には委員・関係者が準備を開始しました。模擬店、テナント店、キッズコーナー、ふれ愛農園展示場などを完成させ、また、二階会議室でのセンター案内展示やバザー会場の準備、看板、駐車場の準備もすべて完了、あとは9時のオープンを待つだけ・・・緊張の中にもその時を迎える事ができました。

セレモニーが始まり副市長さん、市議会議長さんの祝辞を頂き、祭りがオープンしました。元気のいい売り声、笑い声がどの模擬店やテナントにもあり大盛況・・・お客さまの出足も好調でシルバーPR会場も大賑わいでした。11時30分には中央中の吹奏楽が始まり、静かに楽しく会場の人たちが聞き入っていました。その後どんどん太鼓の子供たちによる演奏の後、来場者も一緒に太鼓に挑戦！会場の中が大いに盛り上がりました。

そして盛況のうちに3時に終了。シルバー祭りに関わったすべての人に感謝をいたします。会員の皆様本当にご苦労さまでした。またご協力有難うございました。



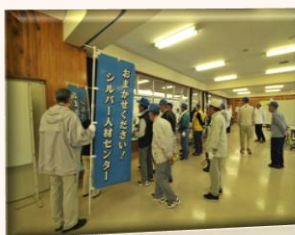
シルバー祭り実行委員長 小川 勝

シルバーの日・清掃ボランティア&ふれ愛フェスティバル

10月2日、8時30分に小梅町の琴平公園に集合して、同公園内を清掃後、桐生市総合福祉センターまで周辺道路の清掃を行いながら移動し、その後「ふれ愛フェスティバル」に参加しました。

会場では介護や福祉に関するブースが多く用意されて、関心のある市民の皆様が熱心に見学をされており、シルバーもパネル展示やチラシ配布を行いました。

屋外では行事を盛り上げる意味も込めて、八木節踊りや吹奏楽の演奏が行われていました。また多くの模擬店舗にはたくさんのお客さんが集まり大盛況でした。





奥利根温泉を訪ねて

相生町 金居 義和

さわやかな好天に恵まれた 10 月 19 日、恒例行事になった互助会親睦旅行が開催されました。会員 50 名の参加を頂き魚沼中央観光の送迎バスに乗り込み、道中おしゃべりを楽しみながらバスの窓からは秋ならではの稲刈りが終わり民家の庭先には柿やカリンが実り、心のどこかに置き忘れた懐かしい風景を眺めながら最初の目的地奈良俣湖に到着、紅葉した山々に囲まれて静かに佇み、しかも雄大な湖に皆で感動しました。

ちなみに奈良俣発電所においては最大 11 m³/s の水量を利用して最大出力 12,400kw の発電をしているそうです。奈良俣湖を後にしてしばらくして奥利根温泉「サンバードホテル」に到着。ホテルは人里から離れた高原情緒たっぷりの林の中にあり素晴らしい所です。

宴会場にて豪華な食事を囲みながら会員同士が歌や踊りに大いに盛り上がり、賑やかな宴会を楽しむ事が出来ました。趣あふれる温泉にのんびりつかり、食事とカラオケを十分に満喫してからホテルの外に出ると前庭の白樺・楓などの中でナナカマドは一層見事に紅葉しています。片隅にはケイトウの黄や赤の花、広い一面にはコスモスの白・淡紅・深紅色などが美しく咲き、壮大な自然に包まれた美しい景色を散策し楽しむ事が出来て大きな喜びとなりました。

そしてホテルのスタッフの見送りを受け、清々しい気分でバスに乗りました。帰途は「田村りんご園」に立ち寄り今が盛りのりんごを購入し、更に「なめこセンター」では熱々のなめこ汁をごちそうになった後、きのこを購入しました。バスは順調に走り無事に桐生に到着しました。

今回の旅行は、仲間の皆さんとの楽しい思い出とお土産と盛りたくさんの一日でした。次回の旅行も沢山の会員とともに参加できる事を楽しみにしております。



第5回 桐生市・みどり市SC 交流グランドゴルフ大会が開催されました

10月30日(日)、みどり市あすかホールグランドゴルフ場で参加者46名が澄み切った青空のもと、楽しくプレーしながら両市の親睦を図りました。

入賞の皆様おめでとうございます

みどりSC：大沢貢・井藤眞弘・石原スミエ・
橋本君江・星野純子
桐生SC：吉田正明・後藤寛・池澤順子
の皆さん

次回も頑張りましょう!

互助会新年会を終えて

新里町 井田 秋雄

平成 24 年の桐生市シルバー人材センター互助会主催の新年会が、1月30日(月)に桐生市民文化会館スカイホールで盛大に開催されました。

津久居副会長の司会で始まり、池田会長・田村理事長の挨拶、亀山市長の祝辞、稲川保健福祉部長の紹介と式も大変盛り上がりしました。

多くの方は昨年3月11日の東日本大震災と福島原発事故に触れておられました。会員の皆様の応援とシルバー会員の繁栄と健康管理に邁進して欲しいそうです。

乾杯後は待望の飲食も始まり、踊りやかけの演奏、ビンゴ大会、カラオケ大会等日頃の仕事も忘れ大変楽しい時間を過ごさせて頂きました。

万歳三唱が終わる頃には、会員同志また元気で会いましょう、の掛け声で散会となりました。最後に会の裏方の役員さん大変ご苦労さまでした。



再生資源の集団回収にご協力を！

回収品目：新聞紙、段ボール、雑誌、スチール缶、アルミ缶、生きびん

回収場所：本所、新里支所、黒保根支所
持ち込み：随時



リサイクル友の会

群馬県環境GS(グンマスタンダード) 認定番号 211132

地球温暖化防止に向け、省エネルギー・廃棄物減量化対策として電気使用量の削減、再生資源の集団回収等にセンターとして取り組んでいます。



インフルエンザの予防の基本は正しい手洗いから！

インフルエンザの予防にはうがい・手洗い・マスクによる予防等がありますが、一番大事なことは手洗いとも言われていますので、正しい手洗いをしましょう。



三二三二作品展

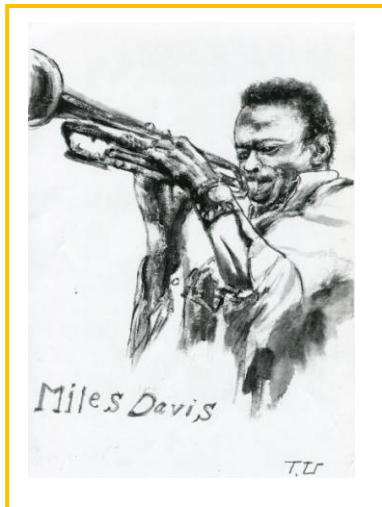
馬嵬坡下泥土中
不見玉顏空死處
君臣相顧盡沾衣
東望都門信馬歸

シルバーセンター書道クラブ

長恨歌（白楽天）
クラブ員8名による合作



手作りの会作品



水彩画：川内町 内田 忠幸
トランペットの巨匠 マイルス・デイビス

俳句
里山の池に鴨見む六十羽
豆まきや声一つ無し福は内
孫ありて龍之介なり梅一花

短歌
東北の心になれぬ我あるか
祈りの軌道寒気つらぬく

相生町 池田 精一



写真：霞ヶ浦帆引き船 宮本町 峯岸 正弘

作品募集
写真・絵・書道・短歌・俳句・川柳・随筆・
手芸品など、奮って投稿してください。

関東ブロック平成23年度役員交流研修会に参加して

副理事長 津久居 宣夫
理事 河内 利夫

12月5日（月）、久しぶりの東京出張でしたが、スムーズに会場であるアルカディア市ヶ谷に到着、研修内容はとても参考になりました。

「シルバー人材センターの危機管理」特定非営利活動法人 危機管理対策機構事務局長 東日本大震災…シルバー人材センターは岩手・宮城・福島の3県で人的被害 日本の危機管理…1/3が高齢社会→安全管理、リスク管理、危機管理、想定外の防災対策、現場管理をする役割を決めておく。

「東京都狛江市の独自事業」 衣服工房ひまわり
狛江市：人口76,000人、会員数605人、契約額1億8800万円
平成22年2月15日開店 リフォーム&イージーオーダー
会員製作者8名のファッションショー発表会が会場であり、会場で注文3件と好評でした。桐生市も織物、繊維の町として発展してきたので独自事業の参考になればと思いました。

お仕事拝見

●女性会員



チラシ配り



設計図書販売



ロールちゃん



ミニぞうりストラップ

会員さんの声

女性の仕事がまだまだ少ないですね。
女性パワーをもっともって使ってくださいーい♥

●男性会員



桐生が岡動物園園内清掃



会員さんの声

屋外の作業は落ち葉の多い季節や風の強い時は大変ですが、笑顔で頑張ってます！

◆安全・適正就業作業ガイドラインの実施について

安全・適正就業委員会
委員長 河内 利夫

群馬県シルバー人材センター連合会より「安全・適正就業作業ガイドライン」が示されたのを受け、第2回安全・適正就業委員会を開催し検討した結果、1.高所作業の年齢制限、2.安全保護具の着用徹底とペナルティ制導入、3.高所や危険を伴う作業は一人就業を避ける、を実施する方向となり、平成23年度第4回理事会に諮り承認されました。

4月からはヘルメットや安全帯及び保護メガネ等安全保護具の着用指導を段階的に行い、遵守できない者に対して一定のペナルティを科し着用義務の徹底を図ることになります。

「第一段階、口頭指導」、「第二段階、イエローカード」、「第三段階、レッドカード」、就業停止に至る前に本人指導を行います。

- ◆会員就業者皆さんが安全意識を再確認、自分のことは自分で守る。
- ◆もう一度手元にある「安全就業必携ハンドブック」を復習して下さい。

安全・適正就業作業ガイドライン

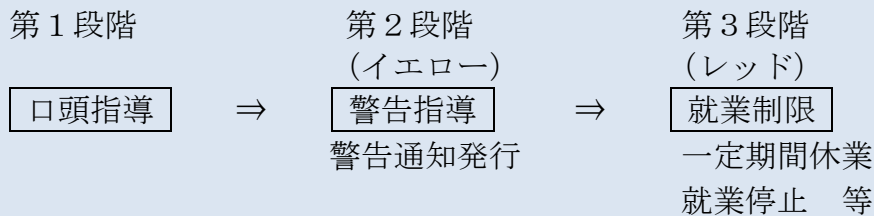
群馬県シルバー人材センター連合会
安全・適正就業委員会

- ① 剪定作業等の高所作業（三脚、脚立、梯子等の使用を伴うもの）について、76歳を超え就業する場合は、本人の身体能力を十分配慮の上、継続／作業制限／職種転換等の適切な指導を行うこと。（継続する場合も概ね80歳を上限目安とする。）

なお、作業制限とは低木の剪定や刈り込み等、転落に対して安全を確保できる作業条件のものと就業をいう。

- ② 安全保護具の着用徹底とペナルティ制導入
ヘルメットや安全帯及び保護メガネ等の安全保護具の着用指導を段階的に行い、遵守できない者に対しては一定のペナルティを科し着用義務の徹底を図る。

【具体例】



警告回数やペナルティ（就業制限）の程度に関しては、各センターの運用に委ねるが、他県の事例により、概ね各2回程度とする。

例) イエロー2回でレッドを発行し一定期間就業休止
レッド2回で就業停止

- ③ 剪定や刈払い機作業及びその他の高所や危険を伴う作業については、1人就業を避けること。（ペア作業の徹底）

事務局より

■ 4月から公益社団法人に

平成24年1月25日の群馬県公益認定等審議会において、当センターの公益法人移行認定について「認定の基準に適合すると認めるのが相当である」との答申が決定されました。今後は3月中旬以降に群馬県知事からの公益認定を受け、平成24年4月1日に公益社団法人設立登記及び特例社団法人解散登記を行うこととなります。

平成24年度の年会費納入について
平成24年3月23日（金）に郵便局口座振込の配分金より、互助会年会費を含めて控除させていただきますのでご了承下さい。

なお、2月中に就業されない方は3月23日（金）までに事務局まで現金で納入していただけますようお願いいたします。

【平成24年度年会費内訳】

正会員年会費	3,000円
互助会年会費	600円
合計	3,600円

退会される方は退会手続きをお願いします。
(印鑑・会員証をご持参下さい)

平成23年度第2回通常総会のお知らせ

日時：平成24年3月29日（木）13:30～
会場：桐生市立中央公民館 403・404 会議室
議題：平成24年度事業計画案
〃 収支予算案

※総会終了後に交通安全講話が予定されています。
多くの会員さんの出席をお願いします。
なお、都合で欠席される方は委任状の提出をお願いします。

会員のお悔やみ

阿由葉 銀作さん（境野町）

平成23年10月17日

森下 弘 さん（仲町）

平成24年1月7日

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます



職員紹介

◎採用 平成23年10月1日付



新里支所・業務担当
広瀬 光義

シルバー社会の真ただ中に居る私たちが、今こそ力を発揮し社会に貢献すべき時と思います。経験豊かな会員さんの叡智により地域に元気の源が提供できる環境作りが出来ればと思います。微力ですが頑張りたいと思います。

◎退職 平成23年9月30日付

新里支所・池内 一通

一年間、大変お世話になりました。

編集後記

震災後10カ月が過ぎ、世間全般で落ち着きを取り戻しつつありますが、最近の報道での関東地方大地震発生の確率が高まってきたことや、放射能汚染の問題などまだまだ心配の種は尽きませんが、会員の皆様共々落ち着いた行動をとって行きたいと思っております。

本号発行につきましては、インビューや原稿寄稿ご協力ありがとうございました。
星野・鷹野・藤井・針谷

シルバーきりゅう 第44号

平成24年2月24日発行

編集発行

(社) 桐生市シルバー人材センター
広報委員会

桐生市美原町5番3号

TEL 0277-43-9161(代) FAX 0277-43-9162